

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		観光情報発信事業						予算事業名		観光情報発信事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				07	01	05	1105	経常経費							
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分		主要事業					
		地域資源を活用したにぎわいと交流の促進													
		地域資源を活用した観光の振興						担当課係等		商工観光課 観光係					
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
本市を訪れる観光客に対し、情報の充実化、取得の容易さを目指し、観光情報発信や基盤整備の充実を図るとともに、本市独自の観光資源を活用した誘客事業を実施する。わかりやすい観光地等の評判が確立され、観光客が増加する。							商業観光振興計画に基づき、様々な観光情報の発信、コンテンツの実施を行う。事業開始の根拠は、インバウンドや旅行需要の高まりによる。他市の状況はあまり参考とならない。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
観光資源発信業務や誘客イベントの充実化を行う。年次計画により複数年かけて、ボトムアップを達成する。 寺社、御朱印、御城印、御手杵などの独自で固有の資源と、ゲーム、アニメ、声優などといった流行のトレンドを掛け合わせ、誘客を目指す。 ARやQRコードを使用したDX化の推進を合わせて行う。							本市を訪れる観光客、市内観光スポット								
							【事業をとりまく環境の変化】 観光客の誘客合戦の激化により、魅力ある観光地の確立、おもてなし感を充実させることは観光行政にとって急務となっている。選ばれる観光地、満足度が高い観光地となるために、求められるハードルは年々高くなってきている。								
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】							
・ 蔵美術館10周年事業兼結城秀康生誕450周年記念事業（市制70周年記念） ・ 歴史的コンテンツ総括事業 ・ 稼げる観光商品販売にかかる経費				・ 歴史に関する独自の資源を活用した事業 ・ 稼げる観光商品販売にかかる経費				・ 歴史に関する独自の資源を活用した事業 ・ 稼げる観光商品販売にかかる経費							
■事業費															
				R04年度		R05年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	20,500	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	4,478	6,997								
歳入計（千円）				24,978		6,997									
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）									
	12 委託料			24,978		6,997									
歳出計（千円）（A）				24,978		6,997									
伸び率（％）						-71.98									
備考	総合計画 9 2 ページ 予算書 1 4 3 ページ														

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	歴史的資源を活用したイベントの実施	実施	目標	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	0.00	0.00
	当該事業費にかかるイベントの実施数	事業	目標	1.00	2.00	2.00
			実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	観光客数	人	目標	500,000.00	550,000.00	600,000.00
	観光入込客数		実績	382,000.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	独自の資源を活用した観光誘客を行うことで、自治体間の競争を勝ち抜き、地元経済を活性化させる必要性は高い。また、独自のイベントを行うことで、自治体の知名度の向上させ、好感度の上昇やふるさと納税の額に直結することからも必要と考える。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が主体となり行うべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	様々なコンテンツを実施するにあたり、アイデアの提供や実施内容の磨き上げといった部分において、一定のノウハウを持つ事業者に委託をすることは妥当であると考ええる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	実施する事業により、どれだけ誘客がなされるかは未知数の部分のあるためどちらともいえない部分がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	観光客の増加が経済波及につながり、最終的には税収の伸びとして市民全体に還元されることから受益者の偏りはないものと考えられる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	毎年実施することにより、本市の独自資源を活用した取り組みが認知、評価され成果が向上していくものと考えられる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	現在のところ毎年事業を実施できていることから、順調であるといえる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
本市独自のコンテンツの提供を行うことは、観光誘客を行う上で大きな強みとなることから継続すべき事業と考えられる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
流行、トレンドの把握、誘客層の絞り込みを行い、効果的なコンテンツの実施を行う。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
方向性の具体的内容 令和3年度より新規事業として展開しており、継続かつ内容の充実が重要である。そのためには、情報発信に長けた人材が必要となるとともに、観光資源のブラッシュアップやコンテンツの改良・開発するための費用が必要である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） □拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	